

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道152号 <small>たかとお</small> 高遠バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県上伊那郡高遠町中村 至：長野県上伊那郡高遠町勝間	延長	7.6 km		
事業概要	一般国道152号は、長野県上田市から静岡県浜松市に至る延長約256kmの幹線道路であり、桜の名所高遠城址公園へ通ずる観光道路でもある。高遠バイパスは、高遠地区内の線形不良を改良し、交通渋滞の緩和を目的とした延長7.6kmの2車線道路である。				
S54年度事業化	都市計画決定 なし	S54年度用地着手	S54年度工事着手		
全体事業費	約111億円	事業進捗率	89%	供用済延長	5.9 km
計画交通量	5,000 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 3.6	総費用 (残事業)/ (事業全体) 13 / 29 億円 (事業費：11 / 27億円) (維持管理費：2 / 2億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 47 / 47 億円 (走行時間短縮便益：43/43億円) (走行費用減少便益：4 / 4億円) (交通事故減少便益：0 / 0億円)	基準年 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が期待される) 安全な生活環境の確保(自動車交通量1000台/12h以上かつ歩行者100人/日以上で歩道未整備区間に歩道が設置される) 他3項目に該当(定量的評価項目を除く) 				
関係する地方公共団体等の意見	高遠町を含む関係2市4町の首長で構成する国道152号整備促進期成同盟会よりバイパスの早期完成の要望(平成15年10月30日)を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	高遠大橋を含む終点側3kmが開通したことにより、西高遠地区の渋滞がかなり緩和された。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに5.9kmが供用済み。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成17年度までに高藤城址に通じる町道との交差点までが開通予定である。その後の1km弱の工事を進め早期供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	縦断計画を見直し、土留め構造物を小規模化を図ることによりコスト削減を図っている				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されと考えられる。				
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。